

神戸女学院大学

人間科学部 心理・行動科学科

精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第7号

4回生による精神保健福祉援助実習 実習報告会を開催しました！



12月16日(土)、4回生 10名による精神保健福祉援助実習 実習報告会が行われました。今年度も対面×Zoomのハイブリッド型を導入し、実習指導者の先生方にも、対面・Zoom両方からご参加いただきました。報告会の合間に設けた茶話会では在学生、OGの垣根を超えて繋がれる交流の場となりました。

4回生への質疑応答(一部ご紹介)

- Q1)医療機関での精神保健福祉士の人数とニーズのアンバランスさはどのような場面で感じたか？
- A1)新規の受診・入院相談が多くあると聞き、1人1人にかかる時間は限られていることを知った。実習指導者の方から支援が行き届いていない方もいるかもしれない状況を教えていただいた。精神保健福祉士の需要が高まっている中で、職員の少なさを感じた。
- Q2)今後精神保健福祉士として働くにあたって、不安を乗り越えるための方法やきっかけを知りたいです。
- A2)実習指導者の方に不安な気持ちやどう思ったかをきちんと伝え、フィードバックしてもらった。それだけでは乗り越えられず、帰校日に実習担当の先生に話をさせてもらったり、家族に話をしたり、同じ期間に実習へ行っていた友人に話をし、意見をもらうことでかみ砕いて消化することができた。これだけでなく、色々な実習の中で不安に感じたことあるが、信頼できる人に話すことが一番と思う。

4回生の実習発表後は、OGゲスト講師として中舎さん(11期生 株式会社Rodina リワークセンター神戸・管理者兼サービス管理責任者)をお招きしました。

卒後就職された地域事業所での経験から、現職の業務内容、転職活動、在学生へ伝えたいメッセージなど、盛りだくさんにお話いただきました。

同じ学科の先輩から直接お話を伺える機会は実習報告会ならではの、是非この繋がりを卒業後も大切にしてほしいと期待しています。



大変お忙しい中、ご参加くださいました実習指導者の先生方、OGのみなさまに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。